

Yamakado News Letter



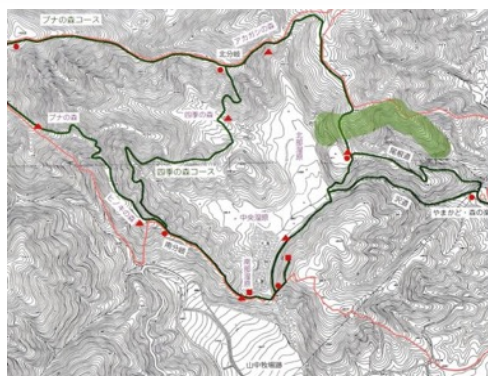
2017年もどうぞよろしくお祈りします



今年も元旦の守護岩詣から始まりました。12 例年になく雪の少ない守護岩詣 Photo by Fujimoto H

名が参加し、保全活動の安全を祈願しました。例年になく雪の少ない正月です。少し拍子抜けの感もありますが、雪がないことを幸いに早速保全活動。湿原まで降りた後はミヤコアザミの保護ネットと取り外し作業をおこない、今後の降雪に備えました。

その後もしばらくは雪は降らず、7日（土）の保全活動の日も晴天となりました。10名の参加で、尾根道の一つ北側尾根のヒノキ林整備を行いました。この場所は今年度の県との協働事業である作業道敷設が予定されています。作業道の敷設によって、生物多様性保全や獣害対策での資材搬入や日々の管理の負担軽減が期待されています。併せて、長らく放置されてきたこの区域のヒノキ林の手入れも行っていく予定です。枝打ちや間伐作業の前に、保全作業では樹皮剥ぎ防止のテープ巻きを行いました。使用したテープの消費量などから、1日でおよそ500本のヒノキにテープが巻けたと思われます。



作業道敷設予定地（緑色）



ヒノキ樹皮剥ぎ防止テープ巻き
Photo by Saji

12月後半から1月前半にかけての活動

年末から湿原ネットの巡視用に木道敷設作業を行っています。湿原の防獣ネットはミツガシワなど湿原の希少植物の再生と保全に欠かせない設備ですが、いつ獣害を被るかわからないので定期的な見回りを怠れません。しかし、湿原内には泥濘が多く、場所によっては太ももまで沈んでしまうようなこともあります。そういった場所に間伐材を利用して木道を敷設しています。降雪もなく年明け直後から作業が再開できたので、10日には敷設が完了できました。今までは泥濘を歩く時にその都度足探りで固めの所を選らなければならず、時には足を踏み外すこともありましたが、これで随分巡視がしやすくなりました。



守護岩詣の後の保全作業 1/1



湿原ネット巡視用の木道敷設
12後半～1月前半

11日からの降雪で、湿原は根雪に

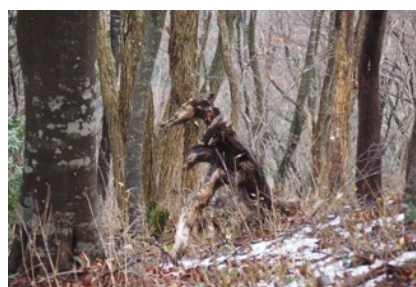
11日から雪が積もり始めました。天気予報で今後の降雪状況も確認しながら、13日に湿原のイノシシ避けトタン囲いを撤収しました。雪が積もるとその圧力でトタン囲いが破損しますし、逆に雪が積もらなかったらイノシシの進入を許してしまいます。撤収時期の見極めは難しく、また全域で約450枚の撤収は大変な作業です。臨時の招集にもかかわらず6名の参加があり、何とか1日で作業を完了することができました。翌日からさらに雪は降り積もり、湿原のネット降ろしも行いました。



湿原イノシシ避けトタン波板撤収 1/13



加速度的に成長しているアカマツ
天然更新試験地のネット外 1/5



おや？ クマ!?
(大窓へ向かい降る道沿い) 1/1



炭焼き小屋の雪景色 1/11



北部湿原のハンノキ花序 1/16



守護岩の積雪77cm 1/16



吹雪く湿原 1/16